

## 三菱鉛筆ウェブサイトにて 新コラムコンテンツ「80億人の表現者」公開

～さまざまなジャンルで「創造・表現体験」をされている方にインタビューしたウェブコラム～

<https://www.mpuni.co.jp/unicolumn/>

三菱鉛筆株式会社(本社:東京都品川区 社長:数原滋彦)は、三菱鉛筆ウェブサイト(<https://www.mpuni.co.jp>)にて、さまざまなジャンルで「創造・表現体験」をされている方にインタビューした新コラムコンテンツ「80億人の表現者」(<https://www.mpuni.co.jp/unicolumn/>)を4月17日(月)より公開いたしました。

当社は、「生まれながらにすべての人がユニークである」という信念のもと、“書く・描く”を通じて、世界中あらゆる人々の個性と創造性を解き放つ「世界の表現革新カンパニー」となることをありたい姿(長期ビジョン)としました。新コラムコンテンツ「80億人の表現者」では、「すべての人は個性ある表現者であり、その違いこそが美しい。」ということにフォーカスし、さまざまなジャンルの方の「創造・表現体験」時のわくわく感、思いや考えなどをインタビューし、発信する予定です。

三菱鉛筆ウェブコラム「80億人の表現者」ページ

<https://www.mpuni.co.jp/unicolumn/>

第1弾では、3人の方の創造・表現のインタビューコラムを発信いたします。

(画家 蟹江 杏さん/立命館大学 総合心理学部 教授 服部 雅史さん/文具王 高畑 正幸さん)

### 80億人の表現者

すべての人は個性ある表現者であり、その違いこそが美しい。  
さまざまなジャンルの創作や発信と、筆記具あるいは「書く・描く」ことの間係を、  
インタビューの数だけ見つけていきます。

 <p><b>Interview</b> 蟹江 杏さん (画家)</p> <p>日記のように絵を描く。私には、描くことがインプットにもなるんです。</p>	 <p><b>Interview</b> 服部 雅史さん (立命館大学 総合心理学部 教授)</p> <p>考え方の違いや曖昧さの許容量を増やす訓練に、「研究」はいい手段かもしれない。</p>	 <p><b>Interview</b> 高畑 正幸さん (文具王)</p> <p>「このペンだけが持つ何か」があるのが、筆記具の無視できない魅力です。</p>
--	---	--

〈報道関係 お問い合わせ先〉

三菱鉛筆株式会社 経営企画室 広報担当 寺杣、横田、庫田

TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217